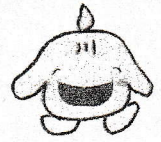




横浜市立川和中学校 学校だより

川和



「川和の菊」として有名であった若菊の二枚重ね
学習等に励み、立派な人になる願いを込めて

1980年(昭和55年創立)

創立30周年記念キャラクター
kawan

10月号 令和6年10月24日発行

いつでも、いつまでも

校長 高部 振司

楓 薦黄 (もみじ つた きばむ)

季節の上では晩秋。

彩り豊かなこの季節は、北の地、
標高の高い山からやってきます。

まさに錦秋。日々を楽しむことを大切に。

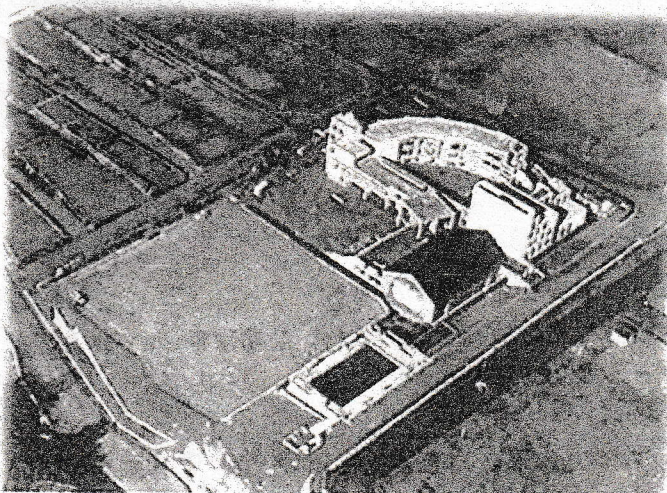


校庭の一角に残る紫陽花の花、「秋色紫陽花」。初夏に咲く紫陽花ですが、条件が整うとこの季節でも美しくあり、眼を楽しませてくれます。

「川和中学校の生い立ち」 初代校長 和泉 久秀先生

～創立十周年記念誌より抜粋・加筆～

当時川和地区の中学生は都田中学校に徒歩かバスで通学。昭和51年頃から都田中の生徒増に伴い、昭和55年4月地域の念願叶い開校したものの、校舎の完成は8月。1学期は都田中の教室を借り、プレハブ校舎で授業。9月1日にようやく新校舎に入りました。港北ニュータウンに初めて造られる学校として建築家の榎文彦氏が設計を担当。古来の家屋の構成(檜、母屋、離れ、中庭)を川和中にも生かしてみたいという構想で今の校舎を造られたのです。校庭やプールの整備を待って、11月1日～3日に第1回文化祭と校舎の落成祝賀式が行われ、これを記念して11月2日を開校記念日としたのです。



開校記念日を迎え、当時の様子を文章と写真、図面でみなさんにもお伝えします。

当時も今も川和中学校と生徒のみなさんを思う地域の方々の気持ちは変わらず。人はだれかとながら、助け、助けられながら生きています。節目の日を迎え、感謝する心を大切に、気持ちも新たに生活していきましょう

左:開校当時の航空写真。整地された土地が広がり宅地も川和東小も建設はこの後。主に1～4組の入る普通教室棟、格技場、多目的ホールもまだない。

下:当時の平面図。体育館の向かいに保健室、職員玄関脇に事務室。第二理科室は図書室。第一音楽室は美術室となっていた。

